

エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりに努めております。放送内容について皆様からのご感想、ご意見をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

■2021年7月

エフエム八ヶ岳7月の番組審議会の議題は4月からの新番組「八ヶ岳今昔 北巨摩散歩」(第2月曜午前9時15分～10時、再放送あり)です。八ヶ岳歩こう会事務局長の多賀純夫さんが新たに改編した番組を担当、実際に歩かれてきた旧北巨摩郡の町村の人たちや風景、名所旧跡など幅広く紹介してもらい、地元の人にはふるさと再発見、移住してきた人には新たな魅力を発見してもらうのがねらいです。放送内容について、審議委員6名の主な意見は次の通りです。

- ・「八ヶ岳歩こう会」の多賀さんは移住者だからこそいろいろなことに目が向けられ、新鮮な番組内容となっている。特に移住した方や若者たちが聞きたくなるような番組タイトルであり、好感が持てる。
- ・番組企画として、八ヶ岳地域の自然や暮らしを実際に体験して紹介するというコミュニティFMらしい番組で好感が持てる。地域の歴史などは地域に暮らしているとよく分からないことも多いが、外からの目で見直すのはなかなか価値があると思う。
- ・多賀さんの話がおもしろく、聞き入ってしまった。「フットパス」は町が健康になることを指し、「ウオーキング」は自分が健康になることという比較に、なるほどと納得がいった。
- ・おもしろく、いい番組。適度に力が抜けた話し方で、緊張しすぎず、気楽に聞いた。多賀さんも聞き手の女性も話し方がちょうどよく、聞き取りやすかった。
- ・地名について調べたことや、三社詣りの話はとてもおもしろかった。
- ・地元の話や地名がたくさん出てきて、とても興味深く楽しく聞くことができた。車で通れば気づかずに通り過ぎてしまうところも、歩けば歴史を感じながら、目に見えないものも感じ取ることができることがよく分かった。ぜひ長く続く番組にしてほしい。
- ・挿入歌も「さんぽ」「中央フリーウェイ」など、番組テーマに沿っていたり、私たちの年代に懐かしい選曲だったりして共感が持てた。次回はどのような挿入歌になるのかも、楽しみになった。
- ・多賀さんは地域を歩くのにあまり肩ひじ張らず、のんびりと地域と程よい距離感で活動しているようで、とてもいい活動だと思う。
- ・地元のことを掘り下げる番組は、意味のあるものだと思う。今後の番組に期待している。
- ・北杜市の歴史をよく調べていることが伝わってくるとともに、実際にいろいろなところを歩いている多賀さんが地元の人より地域のことをよく知っていることに驚かされた。
- ・話が漫然と続いていたので、例えば、実際のコースの紹介や食べ物情報を取り入れるなどして、構成を工夫してみたらいかがか。
- ・移住者や若年層にとって郷土のことを知る絶好の番組であることはもちろん、中高年にとっても故郷を再認識することのできる番組として価値があると思う。この番組が契機となって、本棚に眠っている旧町村誌のページが開かれ、活用されることを願う。